

JA 秋田やまもと

R 7.9 集落座談会資料

1. 6年産米の追加精算と

7年産米の概算金について P1

2. あぜ道（稲作技術情報）について P2

3. 令和7年産米買入方針について P4

4. 令和7年産米の連絡事項について P6

5. くず米庭先集荷について P7

6. カントリー荷受け量の平準化について P8

7. 玄米の“盗難”に気を付けて P9

令和6年産米の追加精算と 7年産米の概算金について

令和6年産米に於いては、集荷競争が激化する中で当JAに出荷して頂いた組合員の皆様には改めて感謝いたします。

5・6年産米は、不作や品質低下、需要量の見誤りなどで需給バランスが大きく崩れ、農家の買入価格・店頭の販売価格の高騰を招き、政府が備蓄米の大量放出をすることで沈静化を図りました。

当JAは、6年産米の当初概算金を20,000円、令和7年1月には4,200円、更に8月末に1,100円を追加払いし、現時点で25,300円をお支払いできています（全量全農出荷と比較すれば価格差が5,200円/俵、総額で1,415百万円）。

さらには、皆様のおかげで良い6年度決算が打てたことから事業分量配当金として60kgあたり110円（税込）を7月にお支払いさせて頂きました。本当にありがとうございました。

さて、7年産米の全農あきたのJA概算金は報道等で皆さんご存じと思いますが、あきたこまちR28,300円/60kg・1等（前年比11,500円増）で決定していますが、当JAの概算金については、競合業者に負けない価格を皆様にご提案するため県内外の価格の情報収集に努め、今現在も米卸と詰めの交渉を行っています。

9月12日（金）の理事会で決定になりますので、結果は、皆様に速やかに周知させていただきますので、何卒、7年産米のJA出荷をよろしく願います。

出穂早く高温傾向、刈り取り早まる予測 刈り取りに向けた準備を早期に行いましょう！

1 気象経過と生育状況

【気象経過】

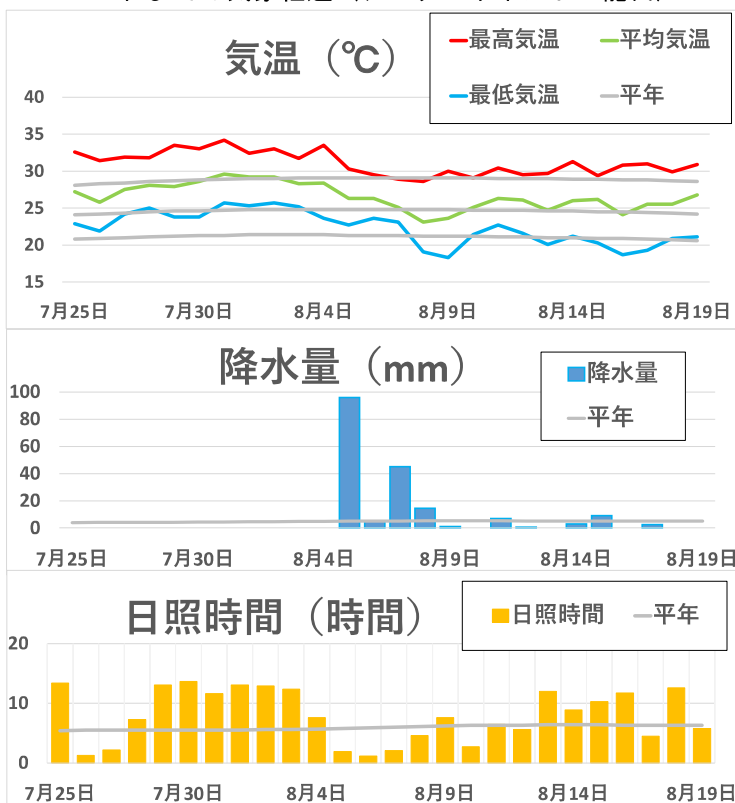
気温は、平年より高く推移しました。8/1～8/19の平均気温は平年差+1.4℃で経過しました。

降水量は、極端な推移となりました。7/17～8/4までの19日間無降雨だった一方で、5日96mm、7日45mmと大雨となりました。

日照時間は、平年よりも多い日が続きました。8/1～8/19までの積算日照時間は平年差+25時間の144時間でした。

仙台管区気象台の1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は平年並み、日照時間は平年並みまたは多いと見込まれています。

これまでの気象経過（アメダスポイント：能代）



【生育状況】

8月20日現在の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種：あきたこまちR）の生育は、穂数が平年より少なく、1穂着粒数が平年より多く、㎡当たり着粒数は平年より少なくなりました。

本年は茎数が不足傾向で推移したため、穂数が平年よりも少なくなりました。このため、1穂着粒数は平年より多くなったものの、㎡あたり着粒数はやや少なくなりました。確保した粳の充実を図るための水管理に努めましょう（次ページを参考）。

なお、管内の出穂期は7月30日（平年差－2日）でした。出穂が早まり、高温傾向が見込まれることから、成熟期が早まることが予想されます。

○定点調査結果（8月20日）

	穂数 (本/㎡)	葉数 (葉)	着粒数		出穂期 (月/日)
			(粒/穂)	(粒/㎡)	
本年	395	13.1	81.5	32,199	7/29
平年	440	12.9	76.8	33,424	8/1
前年	416	13.2	76.4	31,649	7/30
平年比較	90%	+0.2	106%	96%	－3日
前年比較	95%	－0.1	107%	102%	－1日

※平年は過去10力年の平均値

2 主要病害虫の防除対策

【斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）】

- 病害虫防除所から8月7日に防除対策情報が発表され、水田内にノビエやカヤツリグサ科雑草が多く発生しているほ場での発生量が多い傾向です。
斑点米カメムシ類は登熟期前半に玄米の頂部を加害し、登熟期後半は割れ粳の増加に伴い、側部を加害します。そのため、今後は2回目の防除が重要となります。
出穂期24日後頃に、畦畔を含めたほ場全体にエクシード剤またはキラップ剤を必ず散布してください。
- 近隣に水稻以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にし、散布作業を実施してください。
- 畦畔・雑草地等の除草は、水稻の収穫2週間前以降に行ってください。

3 登熟の向上を図る水管理

- 登熟の向上を図るため、出穂30日後までは間断かん水を実施し、土壤水分を保持しながら稲体の活力を維持することが重要です。
- 最高気温が30℃以上になる日は、用水を確保できる地域ではかけ流しかん水、それ以外の地域では飽水管理を行い、高温による根の機能減退を防止します。
- フェーン現象等で乾燥した風が強く吹く日は、湛水状態を保つことで、蒸散による稲体の消耗を軽減します。
- 早期に落水すると、根の機能が低下し登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下する場合があります。落水時期は、出穂30日後頃を目安としますが、登熟の進行やほ場の作業性等を考慮してください。
- ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域で「あきたこまちR」以外を作付けした場合は、出穂3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制します。

4 刈取適期の判断

積算気温を参考に、各ほ場の粳の黄化程度を必ず確認し、刈り遅れによる品質低下を防止しましょう。

ほ場の観察と並行して、収穫機や乾燥機のメンテナンスも早期に行い、スムーズに収穫作業に入れるようにしましょう。

出穂期	積算気温到達日				
	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
7月27日	9月3日	9月6日	9月8日	9月10日	9月12日
7月30日	9月7日	9月9日	9月11日	9月14日	9月16日
8月2日	9月10日	9月13日	9月15日	9月18日	9月20日
8月5日	9月14日	9月17日	9月19日	9月22日	9月24日
8月8日	9月18日	9月21日	9月23日	9月26日	9月29日
8月11日	9月22日	9月25日	9月27日	10月1日	10月3日

※8月20日以降のデータは平年値を使用。※管内の出穂盛期は7月30日。

【刈取適期の判定基準】

※刈取適期は品種や栽培方法によって異なります。

① 粳の熟色

葉や穂首が緑色であっても粳の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の粳数の割合）の頃
※熟度の進展は緑（青）色→黄色→黄白色と進む

② 出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値。上表参考）

早生種：950～1,050℃（1,100℃を超えると胴割粒増加）

中晩生種：1,050～1,150℃（1,200℃を超えると胴割粒増加）

不明な点がございましたら、山本地域振興局農林部農業振興普及課（Tel.52-1241）までご連絡ください。

令和7年産米買入方針について

今年度もこれまでと同様に政府が求める「需要に応じた米づくり」並びに、米卸とは令和7年産米から3ヵ年（一部単年更新型）の複数年契約の更新を控えているが、過去3ヵ年不履行となった経緯から、これまで以上に米卸と米市場動向の情報を共有し米の需給状況を踏まえた7年産米の適正生産と稲作経営が継続できる販売価格の確保に向けた契約内容の更新に取り組む。

現在の米の販売環境は、早場産地の新米販売時期を迎え、量販店等の売り場においては、政府備蓄用米（入札+随意契約分）と新米などが混在しており、販売価格が三極化していくなか今後の消費動向は見通しにくい状況となっている。

このような状況を鑑み、長年信頼関係を築いてきた米卸とこれまで以上に連携を深め、主食用米を主体とするJA秋田やまもと米の産地化と米の安定生産・安定販売の実現に向けて、米卸の要望に応え得る集荷数量の確保に役職員の総力を挙げて取り組み、直接販売の有利性を最大限活かし持続可能な再生産価格の設定による「農業者所得の向上」に努めていく。

1. 区分別集荷について

買入制度区分は「JA米」「一般米」および「用途限定米穀（加工用米・輸出用米）」とする。

2. 集荷規格について

ア) 水分

玄米目標水分を15.0%以下とする。

イ) 整粒歩合の確保

高品質確保及びJA秋田やまもと米の評価を高めるためにも、米選機の網目は1.9mmを使用し整粒歩合を向上させる。なお、適正流量以上では選別精度が低下するので、流量の適正化に努める。

ウ) 適正量目の確保

適正な計量器により包装の重量を確認のうえ、皆掛重量を計って正味重量を確認すること。

包装	皆掛重量	空袋重量	余ます
紙袋	30.5kg	230 g	30kg 当たり 270 g
フレコン	1,031.5kg	2.5k g	1,020kg 当たり 9k g

エ) 異物等の混入防止対策

異物混入、もち混入、着色粒混入、異種穀粒には十分注意する。

オ) カメ虫被害の着色米の買い入れ

格付けされた等級で買い入れすることとする。

カ) ふるい下米・中米の取扱

適正価格を設定し、JAの計画出荷確保の一環として取組むものとする。

- ・ 品種区分は、「あきたこまちR」「その他うるち」「もち」の3区分とし価格差を設け対応する。
- ・ 品質区分は、1.9mm下無選別、1.85mm下無選別、それ以外とし価格差を設け対応する。
- ・ 1.9mm網目下再選別（1.85mm～1.8mm）中米についてはサンプルによる相対価格

とする。

キ) カントリーの取扱い品種 (J A米のみ)

取扱い品種は、あきたこまちR、ゆめおぼことする。

ク) 加工用米について

- (1) 加工用米の出荷期限は令和7年10月31日とする。
- (2) 違約金は、令和7年産加工用米の出荷契約書約定事項のとおり。
- (3) もちの1、2、3等とする。
- (4) 概算金単価

(もち米)

円/60kg

品種	等級	個袋 (俵)	フレコン
全品種	1・2等	21,000	20,784
	3等	20,000	19,784

ケ) 輸出用米について

- (1) 出荷期限は令和7年10月31日とする。
- (2) 違約金は、令和7年産新規需要米の出荷契約書約定事項のとおり。
- (3) あきたこまちR1、2、3等とする。
- (4) 概算金単価は別途設定する。

コ) 令和7年産米集荷計画 (主食用米)

60kg/俵

町 名	倉庫計画	C E 計画	数量計
八 峰	40,315.0	19,090.0	59,405.0
三 種	174,905.5	67,910.0	242,815.5
計	215,220.5	87,000.0	302,220.5

3. 栽培履歴記帳の確認

安全・安心の取組みの前提として適切な生産工程管理を行い、かつJ A米の要件にもなっているため、全ての水稻栽培記録簿を令和7年9月5日 (金) までに提出する。

4. J A米の仕分けについて

「J A米」の要件を満たした米袋にJ A米印を押印し一般米と区分する。

J A米と一般米の仮渡差額は 300 円/60kg とし、対象米穀は、あきたこまちR、ひとめぼれ、ゆめおぼこ、淡雪こまち、サキホコレ5 銘柄の3等以上とする。

令和 7 年産米の連絡事項について

1. 概算金（仮渡金）振込日について（倉庫）

検査日の2 営業日後の入金となります。

2. 米検査手数料の振替（倉庫・カントリー）について

1 俵あたり 50 円（税別）

貯金口座から一括引落としをいたします。

3. 米袋代金の値上げについて

検査用紙袋は昨年より 5 円値上がりの、1 枚 105 円（税込） となります。

4. カントリーの利用料金について

概算金精算時に下記料金を控除します。

60 k g 玄米換算（概算）

単位：円/60 kg（税別）

水分区分	乾燥料	粳摺料	合計
15.5%～16.9%	550	550	1,100
17.0%～27.9%	900	550	1,450
28.0%以上	1,050	550	1,600

生産者各位

秋田やまもと農業協同組合
営農経済部 営農販売課

くず米庭先集荷について

初秋の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。
平素は、当 J A 事業にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
本年も、くず米の庭先集荷を下記により行いますのでご協力をお願いいたします。

記

- 紙袋は無料で下記の場所に準備しております。
琴丘地区：旧琴丘野菜センター（カントリー向い）
八竜地区：野菜集出荷所
山本地区：森岳低温倉庫・金岡低温倉庫・下岩川低温倉庫
八峰地区：峰浜野菜センター
- 選別の度合いに応じた価格を設定します。
（1.9 網下、1.85 網下、選別下、中米等）
- 担当者が庭先へ集荷に伺います。
※ 原則、土日、祝日の集荷は行いません。
- くず米集荷は 9 月※※日（※）から予定しております。

紙袋記入方法

紙袋裏面に黒マジックで大きく記入してください。

品 種 名 あきたこまち R、その他うるち、もち

氏 名 秋田 太郎（ゴム印可）

網 目 1.85、1.90 それ以外は記入しない。中米は中米、選別下は選別下と記入。
（記入例）

あきたこまち R 秋田 太郎 1. 9 0

※ 受付した翌日以降に集荷する場合がありますので、ご了承ください。

※ 詳しくは、総合営農センター（85-2121）

北部営農センター（76-3152）へご連絡ください。

カントリー荷受け量の平準化について

(峰浜 CE の稼働率確保に向けた取り組み)

表1

項目	峰浜CE (3,000㌧)			琴丘CE (7,000㌧)		
	7年契約	6年	5年	7年契約	6年	5年
人数	127	121	130	256	264	284
面積 (ha)	296.6	278.4	297.5	781.3	734.4	772.3
生粳換算 (トン)	2,521.1	1,729.2	1,942.8	6,641.1	5,529.6	5,810.7
稼働率 (%)	84.0%	57.6%	64.8%	94.9%	79.0%	83.0%

表2

項目	八峰			三種		
	7年契約	6年	5年	7年契約	6年	5年
紙袋割合 (%)	44.8%	50.4%	50.3%	27.2%	29.1%	31.9%
フレコン割合 (%)	20.2%	17.5%	17.2%	42.7%	37.8%	36.2%
CE割合 (%)	35.0%	32.1%	32.5%	30.0%	33.2%	32.0%

○現状と課題

表 1 のとおり峰浜 CE の稼働率が R5 年、6 年と年々低下している。背景として不作などもあるが、カントリーを利用していた生産者が高齢化等により法人等に小作を委託した結果、カントリーの利用が減少しているものと予想されます。(表 2：紙袋割合参照)

R7 年度の峰浜 CE の利用申込では、稼働率が 80%を超えていますが委託された法人等は自家調整が主体で CE 出荷するかは不透明な状況です。R5・6 年度と同様の利用率になることが懸念されます。今後も高齢農家等から法人等へ委託される面積は増加すると見込まれることから、峰浜 CE 施設の安定した運営継続には利用率を高める取り組みが必要と考えます。

○改善に向けた取組

峰浜 CE の稼働率を改善するため、八竜サテライトから搬入される粳の量を増やして稼働率の平準化を図り、峰浜 CE では収益確保に努めます。

併せて、琴丘 CE では受入量を抑えることで、品質・作業事故の防止や過剰受入れによる緊急の受入休止日の圧縮などの相乗効果にも期待できるものとして取り組む考えです。

米農家の皆様へ

玄米の“盗難”に気を付けて!!



昨今、全国で農業倉庫等に保管している玄米の盗難が増加しています。天候不良や農家の高齢化による生産量減などによって、2024 年後半から米の価格が急上昇。市場取引価格が高騰していることが要因と思われます。

【被害にあわないために】

- 保管場所の施錠の徹底
- ロープや柵で車や人が敷地に侵入できないようにする
- 防犯カメラ、センサーアラーム、センサーライトの設置
- 袋詰めした玄米は、速やかに出荷する

倉庫の鍵かけを徹底するとともに、自宅や倉庫周辺をうろついている不審者・不審車両を発見した場合は、特に注意が必要です。

